

ヒルムシロ	<i>Potamogeton distinctus</i> A.Benn.	絶滅危惧 I 類
		ヒルムシロ科
選定理由	生育地が極度に減少している。	写真(奥田浩之)
形態の特徴	地下茎は横に伸び、節から上に伸びる水中茎を出す。水中茎の長さは水深によって変化し、下部に沈水葉、上部に浮葉をつける。沈水葉は長さ1-15cmの柄をもち、葉身は披針形、長さ5-15cm、幅1-2.5cm、浮葉は長さ6-15cmの柄があり、葉身は長楕円形から楕円形、長さ4-10cm、幅1.5-4cm。水面上に出た花茎の先に密な穂状花序をつける。	
生態的特徴	湖沼、溜池、水路、水田などに生育する。花期は5-10月。	
分布状況	中国と朝鮮に分布し、日本では全国に見られる。岐阜県では県北に少しと、県南のほぼ全域に記録がある。	
減少要因	湖沼や溜池などの埋め立てと水質の悪化が考えられる。	
保全対策	生育できる湖沼や溜池などの確保と水質の改善。	
特記事項		
参考文献		

文責: 高橋弘